

ADX OPEN TIME

2019.6.15(SAT)-16(SUN)
2DAYS/10:00-16:00

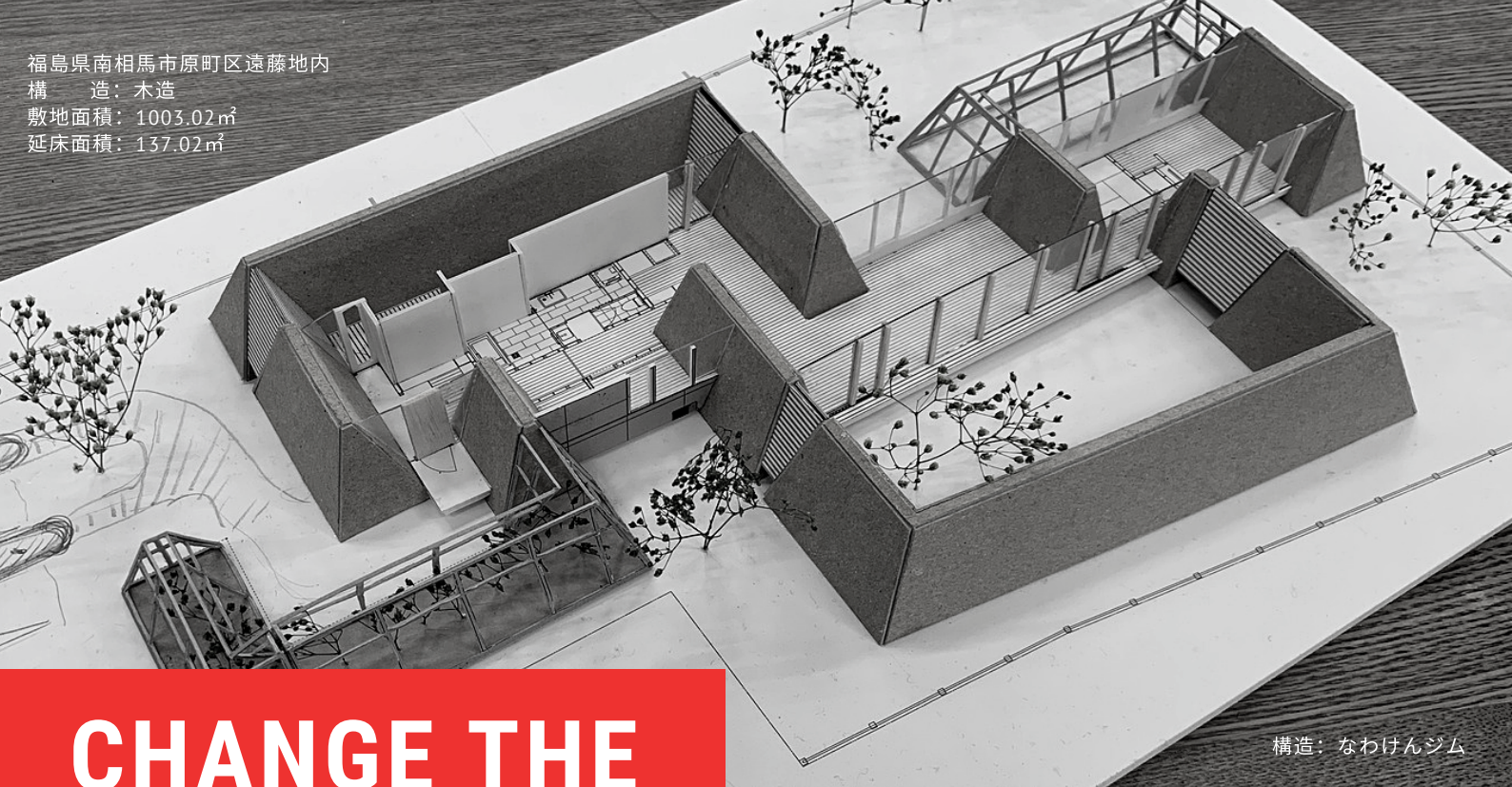
ARCHITECTURE ADX
CONTRACTOR TU/KU/RU
MINAMISOMA PROJECT

DESIGN BY ADX



SOIL HOUSE
IN MINAMISOMA

福島県南相馬市原町区遠藤地内
構 造：木造
敷地面積：1003.02㎡
延床面積：137.02㎡



構造：なわけんジム

CHANGE THE IDEA FROM HERE!

敷地は「相馬野馬追」で有名な福島県南相馬市。施主は自然豊かな場所で暮らしていたが、東日本大震災で仮設住宅住まいを余儀なくされ、家族も離れ離れになった。彼らは新しい住まいとなる場所が雑木林に囲まれたような自然環境を望んでいた。ただし、住宅街のため木々のない土地から計画するため住宅部分ではなく敷地全体のランドスケープから計画することにした。計画するにつれ工事が出る残土処分費が予想以上に掛かることが判明し、幼い頃に砂山を作って遊んでいたことから着想し建築素材として使う発想に転換した。室内外の壁を構造体にするため土木工事の手法を用いて発泡スチロール（ESP工法）に法面吹付工事を施した。結果として自然と融合した空間を実現した。この家では自分の心を静かに聞く『静』の時間と、実行する『動』の時間のバランスを意識して設計している。自分と家族、地域や社会と向き合い、集う人の心の拠り所となること、そしてこの土地にある素材を使うことであるべき姿として訪れる人の心に残り続ける事を願っている。

砂をめぐる争奪戦「SAND WAR」

いま世界中で、砂をめぐる争奪戦が起きていることを知っていますか？ 考えもしないでしょうが、砂は人間の生活に大きく関係している貴重な資源なのです。たとえば、ガラスやコンクリートなどの建築資材として。そして、光ファイバーやパソコン、携帯電話の製造にも。さらには、洗剤にもトイレトーパーにも、歯磨き粉にさえも使用されている砂。こうやって見ると、私たちのライフスタイルに、砂が深く関わっています。天然資源にまつわる紛争と汚職を監視する団体（Global Witness）の調査では、驚くことに世界の海岸からすでに、70%近い砂が姿を消しているというのです。今回敷地から出る大量の残土を一部配合し吹付けする方法を実証しています。福島の「土」がネガティブなものではなく未来へ繋がる一步となるよう土木工事を住宅に応用し職人が活躍できる場を広げ、技術を発揮できるよう新たな試みに挑戦しています。

We'll never stop challenging ourselves.

見学ご予約・お問い合わせ

株式会社 ADX
福島県二本松市油井字松葉山6
TEL:0243-22-1298
<https://adx.jp>
MAIL:info@adx.jp

